

令和6年度第3回函館中央警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年12月18日（水）午後2時00分から午後3時00分まで

2 開催場所

函館方面函館中央警察署3階大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 12名（定員13名）

会長	向井 妙子	副会長	檜原 永都子
副会長	田名部 まり子	副委員長	鹿嶋 洋子
委員長	高橋 哲郎	委員長	石橋 美栄子
委員	福川 晃也	委員	井上 邦彦
委員	阿部 真奈美	委員	川又 修治
委員	本谷 文子	委員	藤田 竜

(2) 警察署 7名

署長	岡崎 健一	副署長	大橋 俊夫
刑事生活安全官	柏川 宗隆	交通官	横田 直哲
地域官	小竹 善郎	北斗交番所長	横田 俊夫
警務官	千和 和司		

4 函館中央警察署協議会会長挨拶

本年11月30日、秋田県のスーパーマーケットに熊が侵入し、開店前作業をしていた従業員が襲われ、顔面等を負傷するニュースが大きく報道されました。

道内では、昨年10月登山客が熊に襲われ死亡する事故も発生しており熊への対策の重要性を認識することとなりました。

その他にも、首都圏を中心としたいわゆる「闇バイト強盗」が道内でも発生しており大きな社会問題に発展しています。

本日の協議会を通じて、地域住民と警察が共通認識を持ち、住みよい街にするためにも忌憚のない意見を頂きたいと思っております。

5 函館中央警察署長挨拶

今年も残すところ半月を切りましたが、幸い大きな事件事故はありません。

これも、日頃からの皆様のご理解とご協力のお陰でございます。

管内の治安概況については、担当者からご説明いたしますが、決して油断できる状態ではありません。

犯罪は一時期減少傾向にあったものの、現在は増加傾向にあり、交通事故についても未だなくならないことから、これまで以上に事件事故抑止対策について考えていかなくてはなりません。

警察としても各種対策について熟考しているところではありますが、警察の考えと皆様方が感じていることの違いについて教えて頂ければと思いますので、忌憚のない意見をよろしくお願いいたします。

6 議事

(1) 懲戒処分状況

(2) 函館中央警察署のできごと

(3) 議題

令和6年の業務推進状況

7 委員からの要望・意見と警察の説明

本谷 「函館中央警察署のできごと」内で、警察が取り組んでいる啓発活動を聞き、指名手配PR活動など重々しい事件についても、着ぐるみを着用したり、マラソン大会に参加したりなど、楽しむことで地域にPRしており、警察を身近に感じるきっかけとなり、地域に浸透させるには良い取組だと感じます。

令和6年の業務推進状況内で、少年にも大麻が蔓延しているという説明を聞きました。

私は子供支援活動をしているのですが、親が子供の所有する携帯電話にセキュリティをかけていないため、有害サイトにアクセス出来る状態があるのを見聞きしたことがあります。

そのような状況を見かけたときは、声を掛け一緒に考える時間を作るようにしているが、家に引きこもっている子供は有害サイトから違法薬物に手を染めることも考えられるので、本人だけではなく大人も一緒に薬物防止に取り組んでいくべきと考えます。

警察 今後も広報啓発活動を継続し、地域住民に身近な警察をPRしていきます。

8 第1回協議会での協議を踏まえた警察の取組

第1回協議会内でご意見を頂いた、日本語を上手く解さない外国人でも分かりやすい「やさしい日本語」について、本年11月27日、「やさしい日本語」研究の第一人者であります、北海道教育大学函館校高橋准教授を講師に招き、警察職員を対象に教養セミナーを開催しましたのでご紹介します。

「やさしい日本語」とは、日本に暮らす外国人又は外国人観光客がより言葉を理解できるように難しい日本語を使用せず、小学3年生までに習得する日本語により意味を伝えていくものであります。

実際、英語より日本語で話かけてほしい外国人は多いが、漢字まで習熟していないことが少なくないため、簡単な日本語により意思疎通を図ることの重要性を認識し、今後活かせる貴重な講話となりました。

9 次回の開催予定及び議事について

(1) 次回開催予定

令和7年2月下旬を予定

(2) 次回議事

次回開催までに事務局で決定する